

製品名: Emp ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab10445

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	45kDa

抗原情報

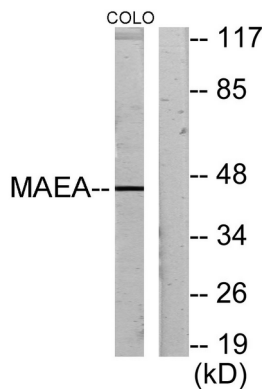
遺伝子名	MAEA
別名	MAEA; EMP; HLC10; PIG5; Macrophage erythroblast attacher; Cell proliferation-inducing gene 5 protein; Erythroblast macrophage protein; Human lung cancer oncogene 10 protein; HLC-10
遺伝子 ID	10296.0
SwissProt ID	Q7L5Y9
免疫原	抗血清はヒト MAEA 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 181-230

背景

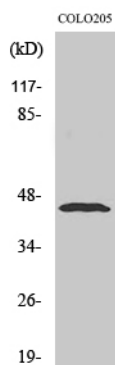
この遺伝子は、赤芽球のマクロファージへの接着を媒介するタンパク質をコードしています。この接着は、おそらくアポトーシスを抑制することによって、赤芽球の末端成熟と脱核を促進します。コードされているタンパク質は、細胞の細胞外側に N 末端、細胞質側に C 末端を持つ膜貫通タンパク質です。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2014 年 7 月],発生段階:前期に凝縮したクロマチンとともに局在します。中期には核紡錘体極に、終期および細胞質分裂には収縮環に検出されます。機能:赤芽球の脱核と成熟マクロファージの発生に役割を果たします。成熟マクロファージの細胞表面にある MAEA の存在と相関して、赤芽球細胞の成熟マクロファージへの接着を媒介します。MAEA を介したこの接触は、赤血球細胞のアポトーシスを阻害する。赤芽球島形成に関与し、これは終末期赤血球生成の機能単位である。F-アクチンと会合して、赤芽球およびマクロファージにおけるアクチン分布を制御する。核構造および細胞分裂に寄与する可能性がある。類似性: CTLH ドメインを 1 つ含む。類似性: LisH ドメインを 1 つ含む。細胞内局在: 核内に斑点状のパターンとして局在する。サブユニット: F-アクチンと複合体を形成する。組織特異性: 普遍的。

研究分野

画像データ



MAEA 抗体を用いた COLO205 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロックされている。



1: 500 に希釈した Emp ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析